

WG の検討の進め方(案)

1. 検討課題

「サンプル替えに伴い遡及改訂する際の過去サンプルとの整合性確保のあり方」の審議を行い、今後の各種統計調査の接続方法の判断の一助とする。

2. 検討方針

現状の統計調査における新旧の接続方法を把握し、現状を踏まえた接続方法の標準的方法を整理する。

3. 検討の進め方

1) 検討すべき事象の明確化、対象とする統計調査の範囲の明確化、現状把握

- ◇ 遡及改訂が生じる要因の整理、本WGで考え方を整理すべき対象とする要因の明確化（サンプル替えに伴い発生するもの等）
- ◇ 月次、四半期調査等対象とする統計調査を明確化するとともに、現状把握を行なう統計調査の要件・範囲も明確化する
- ◇ 上記で明確化された要因、統計調査の範囲に対し、現状把握を行なう。

2) 本WGで検討すべき論点・課題を整理

3) 各論点に対し、考え方を整理

- ◇ 多くの統計調査で採用されている対応について、適切な方法と判断される場合、当該方法を標準的な方法として整理
- ◇ その他、検討すべき論点とされたものについて、現状を踏まえ対応方針を整理

4. 検討のスケジュール

概ね毎月1回開催し、9月末までに取りまとめを行なう。検討スケジュールは以下のとおり。

- ・第1回 6月30日：検討の進め方の決定、現状の報告、検討すべき論点の整理
- ・第2回 7月： 追加の現状の報告、標準的な接続方法の確認、検討すべき論点とされたものについて考え方の整理
- ・第3回 8月： 取りまとめ骨子の検討
- ・第4回 9月上旬： 取りまとめ

→9月中旬以降 横断的課題検討部会報告・決定

（9月にまとめる施行状況審議結果報告書（基本計画編）の数ページに内容を掲載）